

交通安全シミュレーター 危険予測自転車編



本物の自転車をシステムに接続、
現実に近い操作感で
体験できます

後方確認用
モニター

体験用自転車
(センサー付き)

臨場感が学習意欲を高める

センサーを装着した実物の自転車を使用し、「歩行者編」で高い評価を得た3D映像の街並みを走行できます。登場する交通他者(歩行者、自転車、自動車など)の挙動のリアルさも向上し、体験者の学習意欲を高めます。

例 見通しの悪い一時停止のある交差点



死角から出てくる自動車。さまざまな交通場面に危険が潜んでいることを知り、一時停止・多段階停止・安全確認の重要性を学ぶことができます。

後方確認用モニター



発進時や進路変更時には、後方確認用モニターを実際に振り返って、自動車等が来ないことを確認します。

自由度の高いコース設定

特徴の異なる2本の基本コースがあり、Aコースには8区間、Bコースには5区間が設定されています。各区間では、さまざまな交通イベント(後方から車、車両の陰から子どもの飛び出しなど)が発生します。

これらの区間を任意に組み合わせてショートコースを独自に設定することができるため、「小学校低学年向け」「高齢者向け」など体験者に合わせた柔軟なコース作りが可能です。また、1つの区間のみを選択すれば、「信号機のある交差点の通行の仕方」など、特定の交通イベントに焦点をあてた短時間の学習が可能です。

閑静な住宅街を通行するAコース



Aコース
場面例

「自転車通行可」の歩道の通行

幹線道路や商店街を通るBコース



Bコース
場面例

信号機のある交差点の通行

拡張性のある仕様

リプレイ

歩行者編同様、リプレイ機能を備えます。被験者・加害者視点に加え、上空からのリプレイも可能です。

option オリジナルコースの製作

上記A・Bコース以外に、要望に応じて短いコースを追加で製作いたします。地域において頻発する事故事例の再現や、特に強く訴えたい交通場面がある場合等、ご相談ください。

プロジェクター出力

プロジェクター等へ映像を外部出力できます。集合教育の際、体験者以外の参加者にも画面を見せることができ、より多くの人数に対して効果的な教育が可能です。

option 体験用自転車の変更

体験用自転車の車種は、要望に応じて変更することも可能です。幼児専用小さな車種でのご納品等、ご相談ください。

体験の流れ(自転車編)

※指導者がコースを選択する場合。体験者自らがコースを選択することも可能



1 体験コースの選択※

指導者がタッチパネルで体験するコースを選択します。



2 乗車体験

自転車を運転し、乗車体験をスタートします。



3 結果表示・出力

走行結果を総合的に診断し、5段階で評価します。オプションでプリントアウトも可能です。

豊富な活用事例

本シミュレータは、子どもや高齢者を対象にした交通安全教室での活用をはじめとし、ショッピングモールやイベント会場、企業の従業員研修などでも幅広く活用されています。

多くの体験者がシミュレータに対して強い興味・関心を示していただいているだけでなく、当協会のノウハウに基づく指導カリキュラムについても高い評価をいただいています。



子ども向け（小学校）



高齢者向け（公民館）



親子向け（屋内施設）



社員研修でヘッドマウントディスプレイを活用



社員研修での活用



交通安全イベントへの出展



ヘッドマウントディスプレイ (VR) を活用した例



交通安全シミュレータ体験車への搭載



交通安全シミュレータ体験車への搭載



高校生自転車安全教室



高齢者向け交通安全セミナー



小学生、高齢者を対象にしたカリキュラム例

小学生を対象にした活用事例

時間 **45分** ねらい

- 歩行中の交通事故防止を目的として、安全な道路の渡り方をシミュレータで学習する
- 危険予測や安全確認の重要性を認識し、日頃の交通行動で実践できるようにする など

①導入 **2分** ②学習 **8分** ③体験 **25分** ④まとめ **10分**

ねらいや手順を具体的にわかりやすく説明 交通ルールの必要性をスライドやクイズを用いて解説 シミュレータを6~8人1組で体験し、危険感受性を高める 内輪差事故の危険性などを学習し、危険予測・安全確認の重要性を確認

高齢者を対象にした活用事例

時間 **60分** ねらい

- 歩行中の交通事故防止を目的として、道路歩行の危険性をシミュレータで体験する
- 体力測定やゲーム等を通して加齢に伴う身体機能や認知・判断力の変化を自覚する など

①導入 **1分** ②学習 **14分** ③体験 **40分** ④まとめ **5分**

ねらいや手順を具体的にわかりやすく説明 簡単なゲームで、加齢に伴う能力の低下が及ぼす影響を解説 シミュレータの体験を通して、危険感受性を高める／開眼片足立ち・反応力ゲームを実施、自分自身の今の状態を自覚 歩行中の危険予測の重要性や加齢に伴う身体機能の変化について確認